

(5) 総合評価シート(様式)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和元年度)

施設名	吹田市立千里山コミュニティセンター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
所在地	吹田市千里山霧が丘22-1	設置年月日	平成27年4月11日

1 施設の概要

(1)設置目的	文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与する。		
(2)規模、開館日等	【規模】 多目的ホール 1室 会議室 3室 和室 1室 料理実習室 1室 創作室 1室	【開館日等】 休館日:12月29日から1月3日、施設の点検日 開館時間:午前9時から午後10時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	千里山コミュニティ協議会					
(2)指定期間	平成30年(2019年)4月1日 ~ 令和3年(2022年)3月31日 (3年間)					
(3)選定方法	非公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	施設の管理運營業務					
(5)指定管理者の収支		平成30年度		令和元年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	委託料又は利用料金 (円)	18,614,612	18,530,033	19,387,084	19,000,017
		自主事業収入 (円)	2,490,000	2,333,535	2,460,000	1,892,949
		その他 (円)				
	支出	管理経費 (円)	18,614,612	18,530,033	19,387,084	19,000,017
		自主事業 (円)	2,490,000	2,333,535	2,460,000	1,892,949
その他 (円)						
収支差額 (円)						

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		平成30年度		令和元年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用件数(利用率)	—	3,630件(50.1%)	—	3,914件(58.1%)
2	利用人数	—	54,215人	—	57,975人
3					
4					
5					
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者アンケートの実施
(2)把握結果	主な意見として、次のものがあった。 ・インターネットで予約したい。WiFiを使いたい。 ・会議室①②間の仕切りが薄いため、隣の声がよく漏れ聞こえる。改善を望みます。
(3)結果を受けての対応状況	インターネットに代わる予約方法として電話予約を受け付けるなど、利用者にとって使いやすい施設になるよう努めている。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	1. 管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 2. 平等利用の確保は、利用者の公平性が確保されていた。 3. 個人情報の保護は、吹田市個人情報保護条例を踏まえたものになっていた。
(2)施設の効用の発揮	設置目的に合致した事業計画に沿った運営を行いながら、サービス向上に努めており、利用者の満足度も高くなっている。消防訓練等も実施されており、安全対策も徹底されていた。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	地域コミュニティ活動の拠点施設となる運営方針のもと、安定的な運営をするために必要な人員及び管理職を配置しており、職員に対する研修(専門研修や接遇研修等)も適切に実施されていた。
(4)施設の管理経費の縮減	光熱水費や事務経費の節減に取り組んでいた。
(5)その他	ロビーを活用したコンサートを実施し、また、広報誌「千里山コミセンだより」の発行、独自ホームページによる広報活動を行い、ホームページでは空室情報を公開し利用促進を行っている。 若い世代の利用を促すために保育ボランティア付きの講座を実施している
(6)総合評価	運営体制、運営内容に関しては概ね適正であり、誠実に実施されている。運営内容では、ロビー電球の間引き、冷暖房マニュアルや照明マニュアルを作成し省資源への取組みを行っている。また、アンケート結果からも利用者満足は高い水準であり管理運営状況は順調であると言える。